

がん相談支援センター

Plan 計画

- 1 相談の質の向上
(相談者の困りごとの本質を見極め、困りごとに対する術や情報を共有できる。相談員間で起きている課題の共有や解決法の情報共有ができる。)
- 2 院内周知と院外への広報の強化(適切な相談窓口につながる人が増える。院内外の医療従事者ががん相談支援センターの役割を知っている。)
- 3 就労支援の強化(仕事と治療の両立支援)
- 4 情報提供と患者同士の交流の場の確保(患者同士の交流や情報交換の場がもてる)

Do 実行

- 1-1 がん相談員の知識向上に関する研修・セミナーに参加し、相談員間で情報を共有しアップデートする。
- 1-2 病院の患者満足度調査と一緒に当センターについての患者アンケートを実施する。
- 2-1 院内委員会にて職員に広報する。
- 2-2 広報資料を作成し院内外の関係各所に配布する。
- 3-1 ワーキングサポートの開催。
- 3-2 「仕事とがん治療の両立お役立ちノート」の活用。
- 4 がん患者セミナー&カフェの開催
※3 と 4 の開催はコロナの状況に合わせてハイブリット化への検討を考える。

Action 改善

- 1 相談者の反応から得たニーズを共有し、質の向上に努める。
- 2 広報活動による効果測定を行い、改善を図る。
- 3・4 評価をもとに検討し、開催内容を改善する。

Check 評価

- 1 相談者の反応や当センターの患者アンケートの評価・分析。
- 2 利用者に当センターの周知機会を聴取する。
- 3 ワーキングサポートの前後にアンケートを実施。開催後に運営・プログラムを評価する。
- 4 患者セミナー&カフェ参加者に事後アンケートを行う。開催後に運営評価を行う。